

「食のいちゃりば展示商談会」 in読谷村

トにて、「果報庭（かふうなあ）」「食のいちゃりば展示商談会」を合同開催しました。
に参加いただきました。



アクセサリー (有) ホーセル



やちむん ARTIGIANO (同)



電動自動車

(株) JOeB テック



琉球芸能

(株) 琉球コンシェルジュサービス



木のおもちゃ・空間づくり

(株) スマイルレボ



バスボム

(株) アトラスインベストメント

果報庭（かふうなあ）の概要

沖縄総合事務局経済産業部では、沖縄県内ホテルを始めとした観光施設における県産品の活用促進や販路拡大を図るため、展示商談会「果報庭」を開催しています。今回で5回目の開催となる「果報庭」には、ホテルアメニティ・客室備品・アクティビティなど非食品関連の県内サプライヤー40者が出展しました。

出展サプライヤーは、月桃やシークワサーなどの沖縄の自然を活かした化粧品や、染め織物を用いたウェア、やちむんなど沖縄らしい商品を提案したほか、体験エリアでは、伝統舞踊の実演や、県内製造している電動自転車の試乗を行いました。

参加したサプライヤーの声

参加したサプライヤーからは、「新規ホテルとの商談ができた、業者間の意見交換（共同開発など）ができた」「新規のバイヤーやホテル支配人へPRすることができた」などの評価をいただきました。また、参加したバイヤーからは、「色々な業種の企業と商談できた」「素敵な商品に出会えた。社内で検討したい」「ホテルの悩みを解消できるような商品を見つけた」「思いがけない商品や人との出会いがあった」といった声があり、当日は、多くの交流があったことがうかがえました。

経済産業部では、過去に実施した果報庭について、成約事例や成約のポイントなどを紹介しています。ぜひご確認ください。



果報庭会場の様子

お問合せ先

経済産業部 中小企業課
098-866-1755

果報庭について
(沖縄総合事務局HP内)



今年も開催！「果報庭（かふうなあ）」・

沖縄総合事務局経済産業部・農林水産部では、令和7年1月21日にグランドメルキュール沖縄残波岬リゾートでは、県内観光事業者（宿泊業、飲食業、小売業、卸業等）のバイヤーなど約200人、約80事業者（速報値）各展示商談会の様子などを紹介します。

「食のいちやれば展示商談会」の概要

今回で2回目の開催となった「食のいちやれば展示商談会」は、新鮮で特色ある沖縄県産農林水産物やそれらを活用した加工品等について、より一層県内観光事業者等に知っていただき、活用いただくことにより、県産農林水産物・食品の需要拡大、ひいては県産農林水産物の生産拡大にもつなげていくことを目的としています。

当日は、県内の農林水産物・食品のサプライヤー38事業者が出展しました。

参加者の声

参加者アンケートでは、バイヤーから「色々な業種の方と直接お話しできたことで、商品はもちろん生産者の人柄等も知ることができ良かった」、「試食やサンプルなど、実際に触れてみて商品の良さを感じることができた」、「食材は地産地消でありたいので、可能な限り県産品を調達したい。契約について前向きに検討していきたい」といった反響がありました。また、サプライヤーからは「バイヤーと生産現場や流通の課題解決に向けたお話ができ、次につながる商談ができた」、「シェフやバイヤーの求めていることを具体

的に聞くことができてとても参考になった。今後の生産に反映したい」といった今後の取引や、新たな取り組みにつながるようなうれしい声が寄せられました。

会場では、バイヤーとの商談はもちろん、出展事業者間での交流、情報交換も活発に行われ、農林水産業のみならず、観光業や食品産業にも相乗効果が期待できる機会となりました。

県産農林水産物・食品の魅力を発信します！

この会をきっかけに、ホテルや飲食店等のシェフやバイヤーの方がサプライヤーと直接情報交換を行い、お互いの状況を理解して、県産農林水産物・食品の更なる取引拡大につながることも、ホテルや飲食店において活用されることで、沖縄県を訪れる観光客や沖縄県民がその料理を食し、県産農林水産物・食品の付加価値向上につながることを期待しています。

今後も沖縄総合事務局では、沖縄の農林水産物・食品について魅力を発信し、県産食材の更なる利用に向けた取組を実施していきます。

お問合せ先

農林水産部 食料産業課

☎098-866-1673



出展ブースの様子



会場の様子